

超小型電気自動車とワイヤレス充電設備を導入し、地域の環境向上へ

株式会社エイチ・ツー・オー商業開発(大阪市西成区 今井康博社長)は株式会社トヨタレンタリース大阪(大阪市北区 横山昭一郎社長)とリース契約を結び、9月16日、トヨタ製の超小型電気自動車(BEV)「C+pod」(シーポッド)2台を、本社とイズミヤショッピングセンター千里丘店(大阪府吹田市)で業務車両として運用を開始します。また年内をめどに、関西電力株式会社(大阪市北区 森望 代表執行役社長)と共同で、ワイヤレス充電によってBEVを運用する実証実験をエイチ・ツー・オー商業開発の商業施設で始めます。BEVの運用により二酸化炭素の排出削減に取り組むと同時に、BEVへのワイヤレス充電の有効性を検証することで、先進的なシステムを活用したエネルギー利用の効率化を目指します。

BEVとワイヤレス充電設備のお披露目式を9月16日にイズミヤショッピングセンター千里丘店で開催いたします。

お披露目式の概要

【場 所】 イズミヤショッピングセンター千里丘店(大阪府吹田市山田南1番1号)

【日 時】 2022年9月16日(金) 午前10時30分～11時00分

【登壇者】 株式会社トヨタレンタリース大阪 代表取締役副社長 津本 和信
 関西電力株式会社 ソリューション本部 副本部長 南部 博之
 株式会社エイチ・ツー・オー商業開発 代表取締役社長 今井 康博

【導入車両について】

導入車両	トヨタ製、2人乗りBEV「C+pod」(シーポッド) https://toyota.jp/cpod/index.html 2台
用途	業務車両としてイズミヤショッピングセンター間の移動や取引先巡回などに使用
導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出削減 ・BEVとワイヤレス充電設備を実際に運用し、利点や注意点などに関するデータを収集 ・来店客へのBEVのPRやワイヤレス充電の快適性PR

【C+podの特徴】

トヨタ自動車製の2人乗りの超小型電気自動車。2020年発売で、現在はリース専用で法人や自治体、個人向けに販売されています。外形サイズは全長2.49m、幅1.29m、高さ1.55m。軽自動車規格より91mm短く、幅も19mm細い。最小回転半径は3.9m。二酸化炭素排出量はガソリン車のおよそ50%(ライフサイクルアセスメント評価※で算出)で、バッテリーに蓄えた電力は、災害時の非常用電源としても活用できます。満充電で150キロ走行、最高時速60キロ。

※ある製品・サービスのライフサイクル全体(資源採取、原料生産、製品生産、流通・消費、廃棄・リサイクル)、またはその特定段階における環境負荷を定量的に評価する手法



本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・ツー・オー商業開発 経営企画室 TEL:06-6657-3325
 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 広報部 TEL:06-6367-3181

<参考>

【イズミヤショッピングセンター千里丘店について】

電 話:06-6380-7141

売場面積:13,058 m²

営業時間:午前 10 時～午後 9 時(食品売り場:午前 9 時～午後 9 時)

館 長:中西忠昭

開 店 日:1976 年 10 月 30 日

駐 車 場:750 台

住 所:大阪府吹田市山田南 1 番 1 号

テナント:イズミヤ、ニトリ デコホーム、ABC-MART、Seria など

※2022 年 9 月 16 日(金)に食品売場が全面的に新しくなってオープンします。

また専門店売場として H2O 商業開発が運営する衣料品を中心としたショップ「i-closet」(アイ・クローゼット)がオープンします。普段のファッションをアップデートする「気軽に」「楽しくなる」「素敵な」「ちょっと〇〇がいい」商品を安心した価格でご提供します。

設備面ではイベントホールの設置や、お手洗いを中心に居心地の良い設備に刷新しました。

より快適にお買い物いただける商業施設を目指して、今後も改装を進めていきます。